

ページ	条	現 行	改訂(案)	改訂理由
1-14	1-1-23	表2 - 1段階確認一覧表	(追 加) 6 道路 16.道路修繕 6.橋梁修繕工 に「落橋防止システム」の段階確認一覧表を追加。 「別添1」参照	落橋防止システムの段階確認実施方法制定による。
174		出来形管理基準及び規格値 第6編 道路編 「6 道路 16.道路修繕 6.橋梁修繕工 落橋防止システム」 (平成15年4月1日制定)	(変 更) 「6 道路 16.道路修繕 6.橋梁修繕工 落橋防止システム」の変更。 「別添2」参照	落橋防止システムの出来形管理基準変更による。
348		出来形管理写真撮影箇所一覧表	(追 加) 「6 道路 16.道路修繕 6.橋梁修繕工 落橋防止システム」を追加。 「別添3」参照	落橋防止システムの出来形管理写真撮影箇所制定による。

■ 段階確認

別添1

請負者は施設ごとに下表に示す時期及び頻度において監督員の段階確認を受けなければならない。

編	章	節	条	種別	細別	確認時期	確認の頻度	段階確認又は中間検査	摘要
6 道路編	16 道路修繕	6 橋梁修繕工	落橋防止システム	アンカーボルト	アンカーボルト長(材料)	材料搬入時	1回/1工事	段階確認	
					削孔長	削孔時	1回/1支承線上	段階確認	
					定着長(※)	定着後	1回/10本	段階確認	超音波探傷器にて行う。
				鉄筋		組立完了時	1回/1支承線上	段階確認	

※鋼製装置の場合(RC構造は適用外)

■ 出来形管理基準及び規格値

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	摘要		
6	道路編	16	6	橋梁修繕工	落橋防止システム	R C	躯体	基準高	±20	設置する基数の半数／1支承線	
								厚さ	±20		
								幅	±20		
								高さ	±20		
								配置誤差(※)	±30		
						アンカーボルト(鉄筋)	中心のずれ	±20	設置する基数の全数／1支承線		
							削孔長	設計値以上			
6	道路編	16	6	橋梁修繕工	落橋防止システム	鋼製	鋼製装置	部材長L(mm)	±3	図面の寸法表示箇所で測定	
								配置誤差(※)	±30	設置する基数の半数／1支承線	
						アンカーボルト	中心のずれ	±20	設置する基数の全数／1支承線	超音波探傷器にて測定する。	
							アンカー長	-20			
							定着長	-20			
							削孔長	設計値以上			

※制限値(落橋防止構造での配置位置0.75SE以下、変位制限装置での支承の移動量の確保等)を越える場合はこの限りではない。

■写真管理

1. 写真管理は写真管理基準(案)によるものとする。
2. 落橋防止システムにかかる出来形管理撮影箇所は下の表のとおりとする。
 なお、品質管理写真撮影箇所は現行の基準を参考にするものとする。
3. 出来形写真管理撮影箇所表

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要	
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度		
6	16	6	落橋防止システム		落橋防止システム	RC躯体	各部の厚さ、長さ、幅	1支承線毎に1回	代表箇所 各1枚	
						アンカーボルト	中心のずれ、削孔長	1支承線毎に1回		
						鋼製装置	原寸状況	寸法が変わる毎に1回又は1工事に1回		
							製作状況	寸法が変わる毎に1回又は1工事に1回		
道路編	道路修繕	橋梁修繕工								